

「厳しい寒さのなかにも」

1月11日から12日にかけて天草を寒波が襲い苓北もかなりの雪が降りました。そのため12日は、はまゆう療育園の御協力を得て始業時間を遅くする対応を取らせていただきました。また、熊本県内はインフルエンザの患者が急増し警報レベルになりました。新聞の学級閉鎖の記事を目にするたびに、児童生徒が罹患してきつい思いをしないように、感染が広がらないよう更に予防に努めなければならないと気を引き締めています。

1月21日の授業参観では、小中学部は劇「てぶくろ」を発表し、練習の成果を保護者の方に間近で見てもらうことができました。高等部は自立活動の学習の様子を見てもらいながら保護者の方と職員が生徒の成長について語り合いました。御家族が教室に入ってくると全身を震わせ喜びを表す生徒やニコッと笑顔を見せる児童に学校全体が温かな雰囲気になりました。

授業参観後には、PTA人権教育研修会を実施し、上益城地域療育センター相談員の尾道幸子様「障害者の人権について」お話ししていただきました。大学生の時から障がい児（者）やその家族に寄り添って歩んでこられた経験を基に、穏やかな口調ながら当事者や家族が声を上げていくこと、関わり合うことの大切さを強調されていました。津久井やまゆり園の事件もあり、更に人権について意識を高めていきたいと思いました。



1月26日から2月4日まで本校と天草支援学校の合同作品展が「ふれあいスペース如水館」で開催されています。同じ天草の地にある特別支援学校同士として長年交流を続け、合同で開催する作品展も20年目を迎えました。両校の作品とともに、交流及び共同学習に取り組んでいる苓北町の小学校・中学校の皆さんが本校児童生徒のために作ってくれたゲーム等も展示しています。

また、熊本県肢体不自由児協会のデジタル写真展も同時開催されています。写真展では、本校の高等部2年生の銀賞受賞の作品や療育園で訪問教育の生徒が魚拓に取り組んでいる写真も展示されていますので、足を運んで鑑賞していただければ幸いです。

なお、本校の児童生徒の作品は、本渡歴史民俗資料館で2月6日～2月下旬まで、その後、県庁の県議会棟で展示される予定です。多くの皆様に見ていただければ、児童生徒や職員の励みになると思います。よろしく願います。

平成30年1月31日